

いわゆる舌痛症 亜鉛補充療法中断症例

	性	年齢	Z n 値	結果	症状	経過	期間	2回目		3回目		その他の症状、備考
3	f	68	61	△	舌ひりひり	03/12/17→04/02/**	⑤W	*	◎			口渇（他医でﾌﾟﾛﾏｯｸ継続◎）
5	m	87	78	△	舌が滲みる	03/03/24 X	0					口内苦い
9	f	86	70	△	口内ヒリヒリ感	03/08/18 X	0					多剤、認知
15	f	69	74	△	舌痛感じ？	04/07/06-07/26(+4W)	⑥W					(?)口内苦い？
16	f	69	62	△	舌痛	04/06/30-07/05(+1W)	②W					(?)食欲不振
17	f	64	73	△	舌痛	04/07/08(+4W)	④W					(?)食欲不振、舌ざらざら感
18	f	66	97	△	舌痛	04/09/14-10/18(+2W)	⑥W					(?)口乾、違和感、初期例
20	m	62	82	△	舌炎所見 滲みる	04/11/01-11/19	②W					舌炎、白苔。ﾃﾞｷｷﾞﾙﾁﾝに変更
30	f	73	92	△	口内が滲みる	06/08/01-08/28	④W					びらん。
38	f	62	71	△	舌痛のみ	07/06/28-08/22(+4W)	⑪W					効果無し症例? 副作用？

- 3) 2003/12/27 3Wの投薬を受け、04/02/17 2Wの投薬を受けて、受診中止。
その後、他医でﾌﾟﾛﾏｯｸの継続投与を受けて、治癒。
- 5) 9)患者の状況により、未治療となった症例。
- 15) ～17)同時期のマスコミ報道より、遠方から受診した患者。初診、再診で処方のみで受診中止。
経験を積んだ現在であれば、より適切な指導をして、多くは治療が完結したものと考えられる。
- 18) マスコミ情報で遠方よりの受診患者。初診時Z n 値97と高値。当時は亜鉛欠乏でないと治療中止。
- 20) 舌炎？舌に白苔の斑所見あり、2W投与で変化なく、求めに応じて、ﾃﾞｷｷﾞﾙﾁﾝ軟膏に処方変更。
- 30) 2～3ヶ月前から口内があれ、滲みる。初診時Z n 値92、ビランあり。Z n 値の変化なく、治療中止。
- 38) 3年ほど前からの舌痛。病院歯科で金属アレルギー？ﾌﾟﾛﾏｯｸで口内苦い??
08/22、舌痛は変化ない。Z n 値71→90→98と増加。Al-P値変化無し。8W処方受け、受診中止。

- ◎症例3は本来○になるべきもの。症例5、9は本集計よりは削除。
- ◎症例15,16,17は、血清低亜鉛値の傾向で、且つ、亜鉛欠乏を示唆する症状もあるので、
キチットした亜鉛補充療法で、治癒の可能性大。
- ◎症例18は、高血清亜鉛値のため非亜鉛欠乏症例と考えたが、現在は治療継続すべき症例。
- ◎症例38は、病院歯科で金属アレルギーと言われ、ﾌﾟﾛﾏｯｸの服用に神経質となっているが、
本当に、ヒトに亜鉛の金属アレルギーが存在するのか、否か、検討されるべきものとする。

非舌痛症と考える症例

	性	年齢	Z n 値	結果	症状	経過	期間	2回目		3回目		その他の症状、備考
1	f	84	69	×	舌が滲みる	02/07/02-						口渇、口乾、味覚障害、うつ？
37	f	71	85	×	舌 滲みる？	07/12/18 X						口内違和感、損傷、精神